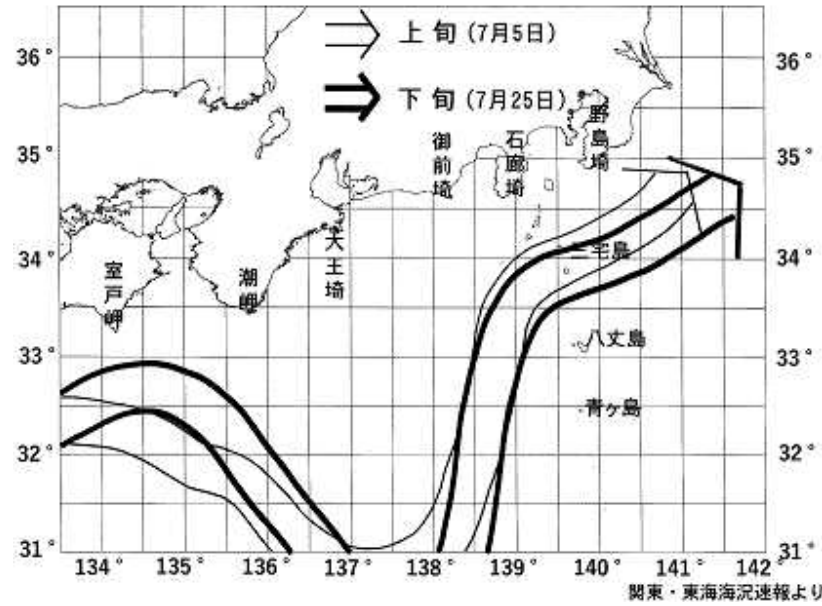


漁海況月報

令和6年7月1日

No. 7 ~7月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



7月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	24.7	22.0	22.1	24.6	25.5	25.1
	2.6	1.0	1.4	2.0	2.2	2.3
中旬	24.2	22.5	22.3	25.1	25.7	25.4
	1.4	0.6	0.8	1.2	1.4	1.6
下旬	25.6	24.0	24.4	27.2	27.4	27.6
	1.5	0.9	1.5	2.4	2.2	2.6
月	24.9	22.9	23.0	25.7	26.3	26.1
	1.8	0.9	1.2	1.9	1.9	2.2

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)の平均値

【黒潮流路】

7月を通じてA型で、潮岬沖で大きく離岸した後、上旬は石廊崎沖まで、中旬~下旬は三宅島付近まで北上する流路となった。

上旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖30.5°N付近から石廊崎沖34.0°Nまで北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が一時的に石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて見られた。

中旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖30.5°N付近から三宅島付近34.0°Nまで北上した後、北東に流去した。暖水波及が一時的に石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘、大島西水道に向けて見られた。

下旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖30.5°N付近から三宅島付近34.0°Nまで北上した後、北東に流去した。

【沿岸域水温】

上旬は稲取、下田で「やや高め」、雲見、沼津、焼津で「高め」、伊東で「極めて高め」であった。中旬は焼津で「高め」、それ以外の地点で「やや高め」であった。下旬は稲取で「やや高め」、伊東、下田、雲見、沼津で「高め」、焼津で「極めて高め」であった。

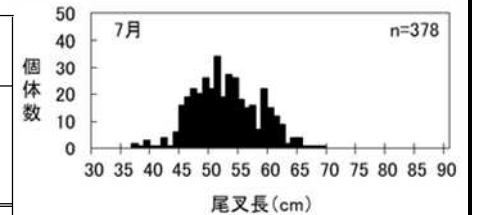
【竿釣カツオ】

7月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは94.5トンで前年同月(115.2トン)の82%であった。平均単価は391円/kgで前年同月(383円/kg)を上回った。

漁場は33-34°N、138-139°Eの伊豆諸島北部海域などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は中(尾叉長51cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R6年7月上旬	30.8	16	1.9	378
中旬	26.4	11	2.4	344
下旬	37.3	19	2.0	434
R6年7月計	94.5	46	2.1	391
R5年7月計	115.2	46	2.5	383
R4年7月計	52.5	17	3.1	592



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は168.4トンで、前年(245.2トン)の69%、平年(284.9トン)の59%であった。また、1か統当たりの水揚げ量は24.1トン(前年:35.0トン、平年:40.7トン)であった。水揚げの多い漁場は、谷津漁場(49.1トン、イサキ、さば類、マイワシ)、次いで古網漁場(27.6トン、マイワシ、マアジ、ウルメイワシ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、マイワシは42.7トン、前年比18.5倍、平年比1.1倍であった。さば類は39.7トン、前年比24%、平年比36%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは0.7トン、前年比1.0倍、平年比5%、ゴマサバは39.5トン、前年比25%、平年比39%、さばっこ(小型当歳魚銘柄)は0.2トン、前年比7%、平年比4%であった。マアジは29.2トン、前年比62%、平年比95%であった。このうち、じんだ(小型当歳魚銘柄)は6.0トン、前年比51%、平年比59%であった。イサキは18.2トン、前年比11.4倍、平年比4.7倍で、昭和57年以降、最も多い水揚げであった。マルソウダは7.3トン、前年比5.2倍、平年比2.6倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下（表）のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マイワシでは古網漁場が35%（15.0トン）、北川漁場が21%（8.9トン）、谷津漁場が20%（8.6トン）、伊豆山漁場が17%（7.2トン）、さば類では谷津漁場が31%（12.3トン）、赤沢漁場が27%（10.8トン）、北川漁場が18%（7.1トン）、マアジでは谷津漁場が23%（6.8トン）、伊豆山漁場が18%（5.3トン）、古網漁場が18%（5.2トン）、赤沢漁場が15%（4.2トン）、イサキでは谷津漁場が93%（17.0トン）、マルソウダでは赤沢漁場が40%（2.9トン）、川奈漁場が21%（1.6トン）であった。

* 平年：昭和57年～令和5年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マイワシ	42.7	18.51	1.14	古網、北川、谷津、伊豆山
さば類	39.7	0.24	0.36	谷津、赤沢、北川
マアジ	29.2	0.62	0.95	谷津、伊豆山、古網、赤沢
イサキ	18.2	11.35	4.67	谷津
マルソウダ	7.3	5.21	2.56	赤沢、川奈

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は月を通じて利島に形成された。水揚量はゴマサバ80トン（前年同月比8.0倍）であり、1隻当たりの水揚量はゴマサバ5.0トン（前年同月比2.5倍）であった。マサバの水揚げはなかった。

1kg当たり平均単価は211円/kgで前月（201円/kg）並で、前年同月（175円/kg）を大きく上回った。ゴマサバの体長組成は33cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R6年7月上旬	-	21	2	3	-	6.9	-	195	利島
中旬	-	21	3	6	-	3.5	-	212	利島
下旬	-	39	4	7	-	5.5	-	219	利島
R6年7月計	-	80	9	16	-	5.0	-	211	利島
R5年7月計	-	10	5	5	-	2.0	-	175	利島、ひょうたん瀬、御前崎沖
R4年7月計	-	366	16	28	-	13.1	-	151	大島千波

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

【シラス船曳網】

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が156kg、駿河湾（吉田、用宗、由比）が124kgであった。平均水揚量は142kgで前年同月（182kg）の78%、平年同月（過去5か年平均：277kg）の51%であった。また、総水揚量は197トンで前年同月（302トン）の65%、平年同月（551トン）の36%で前年、平年同月を大きく下回った。平均単価は1,451円/kgで前年同月（1,762円/kg）の82%、平年同月（1,021円/kg）の1.4倍で、前年同月を下回ったが、平年同月を大きく上回った。

7港のシラス水揚量

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	14.4	10	106	135	1,530
	舞阪	56.1	10	355	158	1,598
	福田	36.7	10	232	158	1,196
	御前崎	16.1	11	99	162	1,252
駿河湾	吉田	41.8	13	338	124	1,585
	用宗	31.7	13	245	129	1,384
	由比	0.5	2	11	41	1,032
R6年7月計	197.3	69	1,386	142	1,451	
R5年7月計	273.9	67	1,308	209	1,761	
R4年7月計	175.6	67	1,237	142	1,226	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年：過去5か年（令和元年～令和5年）の平均値

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚量は、沼津港では4.9トン（前年同月比3.5%、平年同月比47.5%）、小川港では7.6トン（前年同月比950倍、平年同月比1.9倍）、伊東港では60.8トン（前年同月水揚げなし、平年同月比32倍）、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは小川港で0.007トン（前年同月比3.3倍、平年同月比16.7倍）、伊東港、静浦港、沼津港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは4.3トン、カタクチイワシは水揚げがなかった。

*平年：過去5か年（令和元年～令和5年）の平均値

【調査船駿河丸の動向】

7月 2日	～	7月 3日	地先定線観測調査	(2日間)
7月 4日			水質調査	(1日間)
7月 8日			いわし類卵稚仔分布調査	(1日間)
7月 11日	～	7月 12日	BISHOP 深海採水調査	(2日間)
7月 16日	～	7月 17日	さば類音響・標識放流調査	(2日間)
7月 22日	～	7月 23日	キンメダイ親魚採集調査	(2日間)
7月 24日	～	7月 25日	サクラエビ卵・幼生調査	(2日間)
7月 29日			BISHOP 深海採水調査	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

